

目標（R3～R7）に基づく
令和6年度取組の共有、
令和7年度取組目標設定

加古川減災協議会の
取組目標（R3～R7）に基づく
令和6年度取組の共有

目標（R3～R7）に基づく令和6年度の取組の共有

加古川減災対策協議会の取組

- 構成員へ以下の取組内容のフォローアップアンケートを実施（出水期前・出水期後の2回）

1)ハード対策の主な取組

洪水を河川内で安全に流す対策・水防活動に資する基盤等の整備・流域における対策

2)ソフト対策の主な取組

①意識変革、防災意識の継承・再構築、情報伝達に関する取組

想定される浸水リスクの周知・避難指示等の発令について・避難場所、避難経路について・住民等への情報伝達の体制や方法について・避難誘導體制について・避難に関する啓発活動について

②氾濫時に人命と財産を守る水防活動の強化に関する取組

水防体制・河川水位等に係る情報の提供・水防資機材の整備状況

③一刻も早く日常生活を回復するための取組

氾濫水の排水

今後の展開

- 取組方針(R3～R7)の最終年度となる令和7年度に向けて、引き続き取組状況をフォローアップするとともに、大規模浸水被害に備えるため、国、県、市町がより一層、連携・協力を行い、取組実施を推進する。
- 令和8年度にはR3～R7の取組達成状況の確認、および社会情勢や近年の洪水等を考慮して取組方針の見直しを図り、次期取組方針を策定する。

■加古川減災対策協議会の取組目標(R3~R7)

【凡例】 ○:取組対象
●:実施中・実施済み
●又は○:今回更新箇所

【関連法(取り組み義務がある項目を記載)】
①:河川法 ②:水防法 ③:災害対策基本法

※気:気象情報提供者、河管:河川管理者

項目	取組機関								関連法	備考
	気※	河管※		流域関係機関				鉄道事業者		
		姫路河川	兵庫県	加古川市	高砂市	小野市	加東市			
1)ハード対策の主な取組										
洪水を河川内で安全に流す対策										
1	-	●	-	-	-	-	-	-	①	
2	-	●	-	-	-	-	-	-	①	
3	-	●	-	-	-	-	-	-	①	
水防活動に資する基盤等の整備										
4	-	●	-	-	-	●	●	-	②	
流域における対策										
5	-	-	●	○	○	●	●	-	-	流域におけるハード対策として、集水域や氾濫域での対策を加速させ、減災対策協議会で取組事例を他機関と共有する。
2)ソフト対策の主な取り組み ①意識変革、防災意識の継承・再構築、情報伝達に関する取り組み										
想定される浸水リスクの周知										
6	-	●	●	-	-	-	-	-	②	
7	-	●	-	●	●	●	●	-	③	
8	-	●	-	●	●	●	●	-	-	
9	-	●	●	●	●	●	●	○	-	
10	-	●	●	●	●	●	●	●	-	
11	-	-	●	●	●	○	○	-	-	洪水予報河川及び水位周知河川以外の法河川における浸水想定区域を指定する。各市は浸水想定区域をハザードマップに反映する。
避難勧告等の発令について										
12	●	●	●	●	●	●	●	●	-	
13	-	○	○	○	○	○	○	-	②	
避難場所、避難経路について										
14	-	●	○	○	●	○	○	●	②	
15	-	●	●	●	●	●	●	-	②	
16	-	-	○	●	●	○	○	-	-	民間事業者等と災害時の応援協定を締結して、民間施設等を指定緊急避難場所として活用することを検討する。
住民等への情報伝達の体制や方法について										
17	●	●	●	●	●	●	●	●	-	
18	●	●	-	●	●	●	●	-	②	
19	-	●	-	●	●	●	●	●	-	
20	●	●	-	●	●	●	●	●	-	「川の防災情報」等、国や県が有している水位やカメラ映像等のリアルタイム情報の取得方法を住民に周知する。
21	●	●	-	●	●	●	●	-	-	
22	●	●	-	●	●	●	●	-	③	
避難誘導体制について										
23	-	●	-	●	●	●	●	-	-	
24	-	●	-	●	●	●	●	-	③	
25	-	●	-	●	●	●	●	-	-	
26	-	●	-	●	●	●	●	-	②	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進及び避難訓練の実施について、独立した項目として追加
避難に関する啓発活動について										
27	-	●	-	●	●	●	●	-	-	
28	-	●	●	●	●	●	●	-	-	
29	●	●	-	●	●	●	●	○	-	
2)ソフト対策の主な取り組み ②氾濫時に人命と財産を守る水防活動の強化に関する取り組み										
水防体制										
30	-	●	-	○	●	●	●	-	-	
31	-	●	●	-	-	-	-	-	-	
32	-	●	●	●	●	●	●	-	-	
33	-	-	○	○	●	○	○	-	-	
河川水位等に係る情報の提供										
34	-	●	●	●	-	●	-	●	-	
35	-	●	●	●	●	○	○	●	-	
水防資機材の整備状況										
36	-	●	○	●	●	●	●	-	②	
37	-	●	●	●	○	○	○	-	-	
2)ソフト対策の主な取り組み ③一刻も早く日常生活を回復するための取り組み										
氾濫水の排水										
38	-	○	-	○	●	○	○	-	-	
39	-	○	-	○	●	○	○	-	-	

姫路河川国道事務所の取組内容

○姫路河川国道事務所では、6月からの本格的な出水期を迎えるにあたり、**防災体制に万全を期することを目的として、管内の一級河川である加古川、揖保川での洪水を想定した「洪水対応演習」を実施した。**

○洪水対応演習の実施状況

- 日 時: 令和6年5月9日(木) 9:00~17:00
- 場 所: 姫路河川国道事務所 災害対策室・河川情報室(3F)、加古川大堰
- 参加者: 神戸地方気象台、兵庫県、地方公共団体等 計17機関
- 演習内容: ① 関係機関への洪水予報、水防警報等の情報伝達
② ホットライン(電話)による情報共有
③ 洪水予測の演習
④ 河川管理施設等の操作ルールの確認、操作及び情報伝達の机上演習等



取組を実施した効果、成果

- ◆ 関係機関と連携した洪水対応演習により、出水期に向けて防災体制を構築した。

○姫路河川国道事務所では、越水・溢水や漏水等の洪水時の被害発生が予想され、**水防活動が必要とされる箇所**について、重要水防箇所評定基準の見方、被害発生要因、対策工法を確認し、洪水時の注意点について、現地状況を関係機関と確認する**合同点検**を実施。

○重要水防箇所合同点検の実施

- 日 時：令和6年6月20日(木)
- 場 所：加古川、万願寺川、東条川
- 参加者：加古川市、高砂市、加東市、小野市



加古川市 工作物(樋門)



小野市 越水

取組を実施した効果、成果

- ◆ 具体的な水防活動内容とともに現地を確認することで、出水時の対応について共通認識を持つことができた。
- ◆ 来年度以降も継続実施することで、知識の引継ぎを行う。

- 本格的な洪水期に備え、**水位・雨量観測所(水文観測所)**の**重点的な点検**を実施した。
- 水文観測所において得られる水位や雨量のデータは、出水時に発表する**洪水予報**(氾濫注意情報や氾濫警戒情報など)や、**水防警報**(水防団の出動など)、市町の避難情報発表のトリガーとなるなど、「国民の生命・財産を守るための重要な情報」の基礎となる非常に重要なデータとなる。

○水文観測所点検の実施状況

- 日 時:令和6年5月17日(金)
- 場 所:加古川水系水文観測所 6か所
- 目 的:洪水予報や水防警報などの基礎となる水位等の情報が計測できているか確認を行う。
- 実施内容:水位計、雨量計の動作確認 等



取組を実施した効果、成果

- ◆ 水位・流量計、雨量計等の点検することで、出水期の洪水予報や水防警報の発表に備えることができた。

○兵庫県主催の「知ろう！学ぼう！総合治水展」にて、姫路河川国道事務所は国民の水防災意識の向上のため「**浸水歩行体験**」を実施した。

○実施日：令和6年6月2日（日）11:30～15:30

○開催場所：兵庫県立人と自然の博物館（三田市弥生が丘6丁目）

○主催：兵庫県土木部総合治水課、兵庫県立人と自然の博物館

○協力：国・兵庫県立龍野北高等学校、神戸市立科学技術高等学校、兵庫県土地改良事業団体連合会、
（公益社団法人）雨水貯留浸透技術協会

○浸水歩行体験



取組を実施した効果、成果

- ◆ 約150名の地域住民が参加し、浸水歩行体験を通して、水害の危険性や避難時の注意点を伝達。

○加古川市総合防災訓練および小野市消防防災フェスにて、姫路河川国道事務所は水防災意識の向上や水害リスクの自分事化を目的として、マイクロモデル(流域模型)の展示を行った。

○加古川市総合防災訓練

- 実施日: 令和6年10月27日(日)
- 開催場所: 加古川市役所前広場
- 主催: 加古川市
- 参加人数: 約30名



○小野市消防防災フェス

- 実施日: 令和6年11月3日(日)
- 開催場所: 小野市防災センター
- 主催: 小野市消防本部、小野市消防団、小野市防火協会
- 参加人数: 約230名



取組を実施した効果、成果

- ◆ 総計約260名の住民が参加。氾濫状況を視覚的に把握することで浸水リスクを実感いただいた。

○姫路河川国道事務所では、加古川・揖保川流域の住民が風水害時において**防災関連情報を収集することを支援するためのポータルサイト**を事務所ホームページで公開。

土砂災害

- 土砂災害の危険度
- 土砂災害防災情報

公共交通機関

- 航空機運行状況(神戸空港)
- 兵庫県の公共交通
- 山陽電気鉄道
- JR西日本
- 神戸電鉄
- JR西日本
- 兵庫県の公共交通
- 山陽電気鉄道
- JR西日本
- 神戸電鉄

ライフライン

- 都市ガス供給状況(大阪ガス)
- KDDI障害情報
- 楽天モバイル障害情報
- 兵庫県の停電状況(関西電力)
- docomo障害情報
- ソフトバンク障害情報
- 兵庫県の水道

その他防災情報

気象情報

- 雨雲の動き
- 大雨危険度
- 24時間降水量(アメダス)
- 台風情報
- 天気図
- 天気予報
- 風向風速
- レーダー雨量
- 気象警報・注意報
- 今後の雨
- 気象衛星

河川

- 洪水の危険度
- 洪水予報の発表状況
- 浸水の危険度
- 兵庫県河川ライブカメラシステム
- 兵庫県河川監視システム

国土交通省近畿地方整備局
姫路河川国道事務所

防災情報 河川 道路 海岸 事務所概要 活動報告 入札・契約情報

トップ > 防災情報 > 加古川・揖保川 防災ポータル

加古川・揖保川 防災ポータル

日頃から知ってほしい情報

防災情報

- 兵庫県C.G.ハザードマップ
- 「川の防災情報」の活用方法
- 浸水ナビ

私たちが取組

- 姫路河川国道事務所公式X

災害時、見てほしい情報

- 防災情報
- ライブカメラ
- 浸水想定区域図
- 加古川・揖保川 防災ポータル
- 異常気象時通行規制区域
- 加古川・揖保川 水位情報
- 災害への取り組み
- 災害対策用機械の紹介

↓スマートフォン・PCからアクセス↓

<https://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/index.html>

＜姫路河川国道事務所HPで公開中！＞

川の防災情報: <https://www.river.go.jp/>

「川の防災情報」説明動画

「川の防災情報」にリンク
(活用方法について動画で説明)

浸水ナビ (検索した地点の浸水シミュレーションを確認できます)

浸水シミュレーションを確認する

「浸水ナビ」にリンク

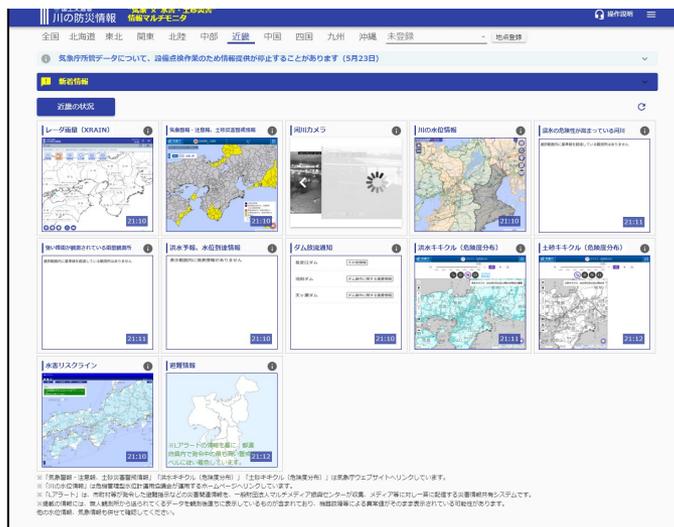
○姫路河川国道事務所では、加古川・揖保川のわかりやすい防災情報発信を目的として、**災害発生情報等を一元的に確認出来る情報マルチモニタ**や**防災リンク集**を、事務所ホームページで公開。



○防災関連情報(リンク集)



○“気象”×“水害・土砂災害”情報マルチモニタ



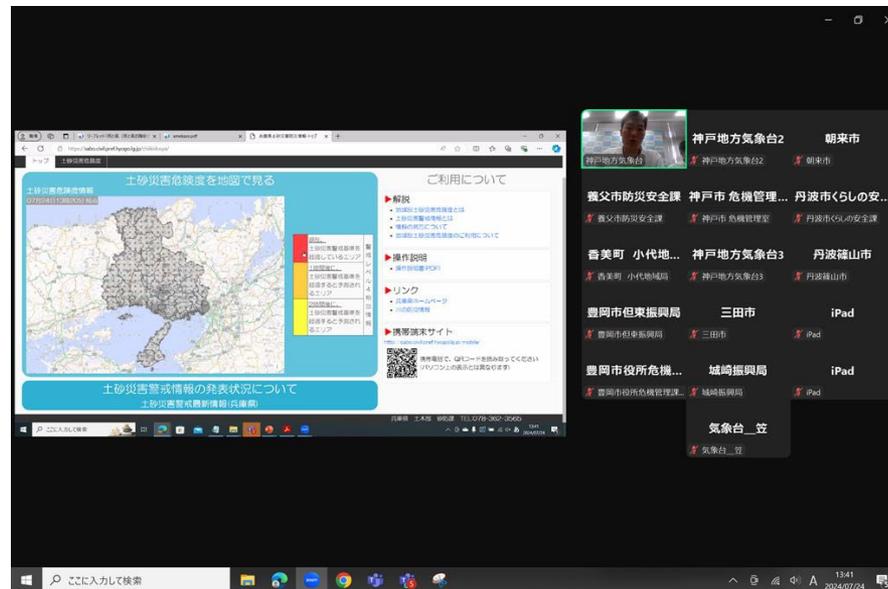
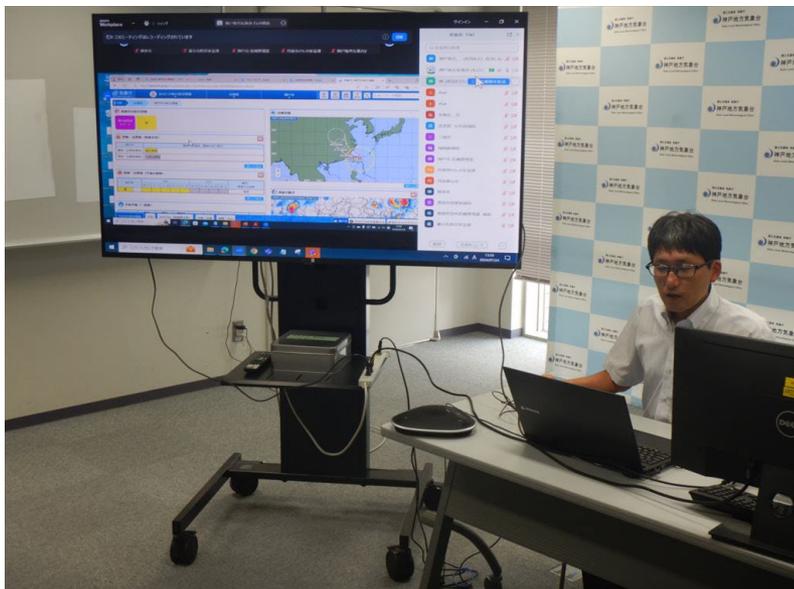
○川の防災情報



各機関の取組内容

○気象防災ワークショップを開催

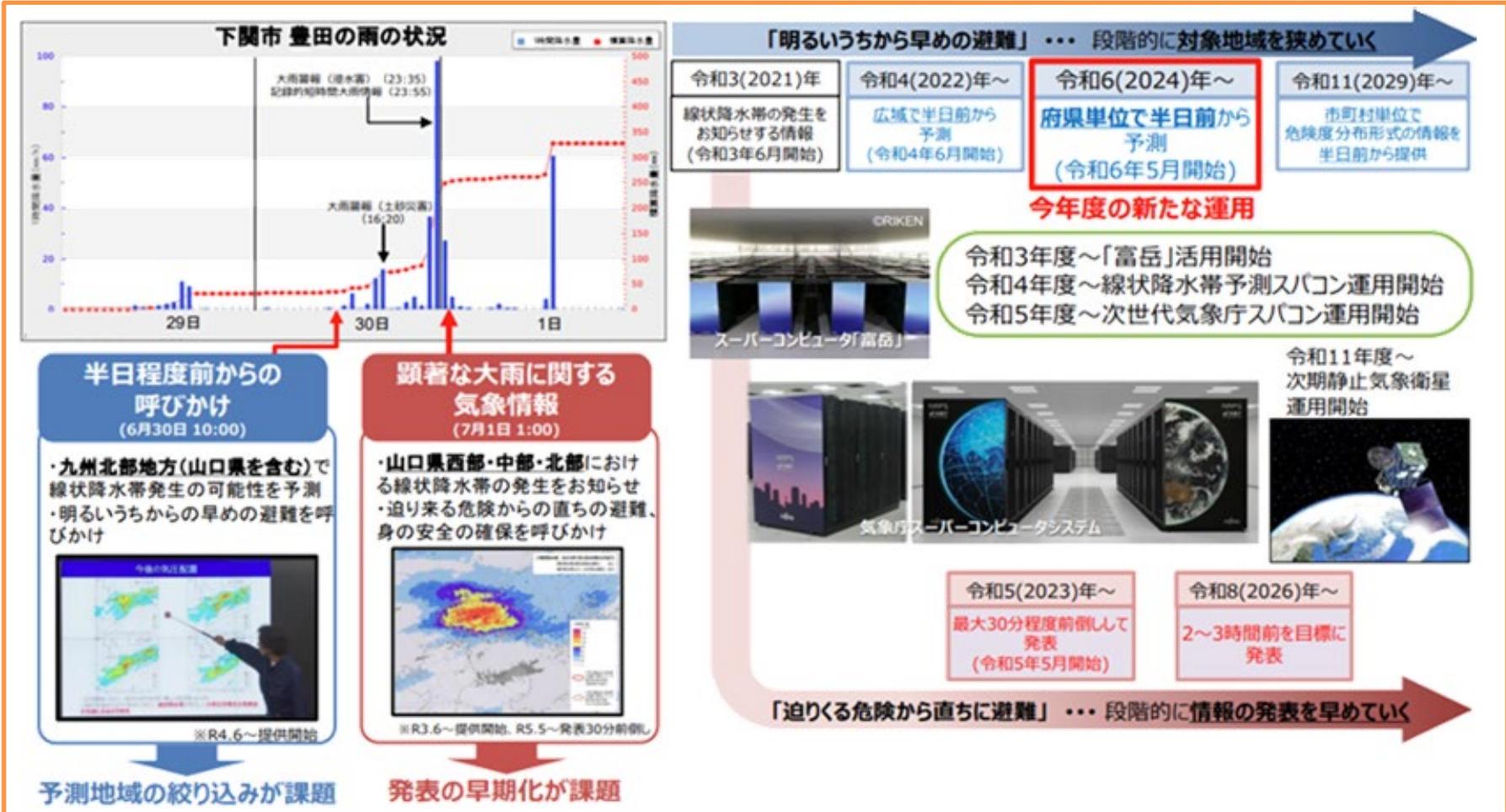
自治体の防災担当者を対象にした、気象災害の危険度が上がった時に、避難情報の発令判断に防災気象情報をどのように活用するのかを模擬体験する、気象防災ワークショップを開催。



WEB形式の気象防災ワークショップの様子

○線状降水帯発生の可能性を半日程度前から、府県単位での呼びかけに改善

線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけについて、
令和6年5月27日からは、対象地域をこれまでの地方単位から府県単位に絞り込んで呼びかけを実施。



○兵庫県気象情報における量的予想の表現の変更

兵庫県気象情報に記載していた、24時間以上先(72時間先まで)の降水量等の量的予想は、幅を持たせた表現としていましたが、令和6年6月13日から、幅のない表現での運用を開始。

令和5年 台風第7号に関する**兵庫県気象情報** 第2号
令和5年8月13日05時35分 神戸地方気象台発表

<抜粋>

明後日

[波の予想]

兵庫県では、15日は、うねりを伴いしける見込みです。

14日に予想される波の高さ
南部 2.5メートル

15日に予想される波の高さ
南部 2.5から3メートル

15日に予想される波の高さ
南部 3メートル

明後日

[風の予想]

兵庫県では、14日から15日にかけて暴風となるおそれがあります。

14日に予想される最大風速(最大瞬間風速)
南部陸上 15メートル(30メートル)
南部海上 20メートル(30メートル)

15日に予想される最大風速(最大瞬間風速)
南部陸上 20から24メートル(30から40メートル)
南部海上 25から29メートル(35から45メートル)

15日に予想される最大風速
(最大瞬間風速)
南部陸上 23メートル
(35メートル)
南部海上 28メートル
(40メートル)

24時間
以上先

[雨の予想]

兵庫県では、15日から16日頃にかけて警報級の大雨となるおそれがあります。

14日6時から15日6時までに予想される24時間降水量は、いずれも多い所で、
南部 50から100ミリ

15日6時から16日6時までに予想される24時間降水量は、いずれも多い所で、
南部 100から200ミリ

14日6時から15日6時までに予想される24時間降水量は、多い所で、
南部 80ミリ
15日6時から16日6時までに予想される24時間降水量は、多い所で、
南部 200ミリ

(注) 24時間降水量の「多い所」が複数日にわたって地域内の同一場所とは限らないため、単純に足し合わせると過大になります。そのような使い方はしないでください。

○バーチャート形式の図情報の運用開始

住民に気象台が持つ危機感が伝わるよう、朝の時間帯に発表する兵庫県気象情報において、バーチャート形式の図情報の運用を開始(ただし、発表条件あり)。

バーチャート形式の図情報の発表例

令和6年 台風第10号に関する兵庫県気象情報 第9号
 令和6年8月29日06時53分 神戸地方気象台発表

非常に強い台風第10号は、31日から9月1日頃にかけて、兵庫県に最も接近するおそれがあります。暴風やうねりを伴った高波に警戒し、高潮に十分注意してください。また、台風が接近する前から降水量が多くなるため、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に十分注意してください。

		29日								30日								31日			
		6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時		
		朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	届接近	届接近	届接近	届接近		
台風届接近																					
大雨(浸水) 1時間最大降水量(ミリ)	北部	30	30	40	40	40	40	30	30	30	30	30	30	40	40						
	南部	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40						
大雨(土砂)	北部																				
	南部																				
強風 (メートル)	北部	陸上		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	13					
		海上		15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	18				
	南部	陸上	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	15	17	20	20					
		海上	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	18	20	25	25					
波浪 (メートル)	北部													3	3						
	南部	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2	2.5	3	3							
高潮 (メートル)	淡路島南部を除く	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	5.5	5.5					
	北部	0.7	0.7																		
	大阪湾 播磨灘 淡路島南部					1.4	1.4						1.2	1.2	1.2						
雷	北部	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	
	南部	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	電巻	

【雨の予想】
 29日6時から30日6時までに予想される24時間降水量は多い所で、 北部 80ミリ 南部 80ミリ
 30日6時から31日6時までに予想される24時間降水量は多い所で、 北部 100ミリ 南部 120ミリ
 31日6時から9月1日6時までに予想される24時間降水量は多い所で、北部 150ミリ 南部 150ミリ
 その後も降水が続く見込みで、総降水量がさらに増えるおそれがあります。

今後発表する防災気象情報に留意してください。
 次の気象情報は、29日17時頃に発表する予定です。

○ブース出展、出前講座で普及啓発

防災訓練等でのブース出展や、学校などでの出前講座で防災気象情報について普及啓発を実施。



加古川市総合防災訓練でブース出展

県広報誌での啓発（総務企画室）

広報誌地域版にて、県CGハザードマップと河川ライブカメラの記事を掲載し、地域住民に浸水リスクとリアルタイム情報の収集方法を周知。



県民だよりひょうご東播磨地域版

出前講座の実施（加古川土木事務所）

加古川流域の地域防災力を強化するため、小学校で防災知識の啓発や体験学習を実施。

実施場所 高砂市立伊保小学校
 参加人数 児童数65名
 実施時期 令和6年9月10日
 内 容 豪雨災害時の適切な避難についての説明、クイズ形式での講義、模型による実験 等



模型実験



クイズ型講義

【加東土木事務所】

西脇市と協力しマイ・タイムライン作成講座を開催

- ・マイ・タイムラインとは住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）であり、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするものです。
- ・加東土木事務所では、加古川沿川市町である西脇市と協力して、マイ・タイムライン作成講座を
- ・令和7年1月26日（日）に開催しました。

**お天気キャスターと作る！
マイ・タイムライン作成講習会**

2025 **1/26日** 会場 西脇市茜が丘複合施設Mirale(みらいえ)
(西脇市野村町茜が丘16-1) 定員 50人 ●申込先着順(申込方法は裏面へ)

14:00～16:00 (13:30受付開始)

西脇市にお住いのみなさまを対象に「洪水時の一人ひとりの防災行動計画」となるマイ・タイムライン作成講習会を開催します。

気象の専門家による近年のお天気観望とともに、ハザードマップを使用して、参加者一人ひとりの「マイ・タイムライン」を実際に作成します。

**マイ・タイムラインが
あると吉**
マイ・タイムラインを
つくっていたら...

**マイ・タイムラインが
ないとき**
マイ・タイムラインを
作ってないから...

知りたい場所の浸水リスクはこちらで！

Instagram

兵庫県CGハザードマップ 西脇市防災マップ (WEB版)



マイ・タイムライン作成講座
(澤麻美氏による説明)



マイ・タイムライン作成講座
(参加者が実際に作成する様子)

マイ・タイムライン作成講座
募集案内

【加東土木事務所】

東播磨・北播磨・丹波(加古川流域圏) 地域総合治水推進計画を全面改定

- ・兵庫県では、平成24年4月に都道府県初の「総合治水条例」を施行。市町、県民等と協働して、県下11地域毎に策定した「地域総合治水推進計画に基づき、河川や下水道を整備する「ながす」対策、校庭やため池などを活用し雨水を一時的に貯留・浸透させて流出を抑える「ためる」対策、浸水した場合でも被害を小さくする「そなえる」対策を組み合わせた「総合治水」に流域全体で取り組んできました。
- ・「地域総合治水推進計画」策定から概ね10年間が経過したことから、
- ・計画の改定に向けて、令和6年3月15日に第1回協議会、令和6年10月～11月に上流域、中流域、下流域で、
- ・それぞれのワーキング、令和7年2月3日に第2回協議会を開催し、このたび令和7年3月に計画を全面改定しました。



ット



令和7年2月3日 第2回協議会

○災害への意識を高めるために

浸水深を洪水関連標識として生活空間である「まちなか」に表示することにより、平時から洪水への意識を高めるとともに浸水深の知識の普及を図り、発災時には安全かつスムーズな避難行動に繋げ、洪水による被害を最小限にとどめることを目的とする。



- 【施工場所】 浸水想定のある市内公民館(7施設)
【デザイン】 左記のとおり。
施設ごとの想定浸水深を図示。



加古川公民館



尾上公民館



加古川北公民館

課題：外国人住民が、台風などの災害時に、どこに避難すればよいかかわからない。

市国際交流協会が実施する日本語教室において、災害時における情報の種類の説明やハザードマップの見方の説明を行った後、参加者全員が、一人ひとりの状況に応じて「いつ、どこに、どうやって」避難するのかを記載するマイ避難カードを作成した。



取組を実施した効果、成果

- ・災害時に外国人住民が、どのような情報が出ればどのような避難行動をしなければならないかを、国際交流協会の協力のもと、ワークショップ形式で検討することで、参加者の不安を解消することができた。
- ・マイ避難カードを作成することで、どこに逃げればよいのか、何をもって、どうやって逃げれば良いのかを確認することができ、外国人住民の減災意識の高揚を図ることができた。

- 【概要】 現在、加古川で大規模な堤防決壊が起こった場合は下流域の「加古川河川防災ステーション」を拠点として物資輸送等の災害復旧活動を行うが、中流域にはこのような施設がなく、大規模な堤防決壊時に必要となる資機材等の整備、緊急復旧活動など迅速な対応を図るための拠点を整備する。
- 一方、災害時以外の平常時には当施設を賑わい創出の拠点とするため、「大部・河合地区かわまちづくり事業」を推進することで、「災害時の初動施設としての機能のほか、平常時の賑わい創出の拠点としての一面を持つ新たな河川防災ステーション」＝「MIZBEステーション」としての整備を国と共同で進めている。
- 【整備内容】 防災公園、交流施設、ヘリポート、備蓄資材置場、作業ヤード等
【整備規模】 約7,700m²
【計画期間】 R5 詳細設計・用地買収、R6～R7 造成工事、R8 建物整備



市内の地区住民及び小学校を対象に出前講座、防災備蓄倉庫の見学等を実施した。大規模災害時には、地区と行政による協力が欠かせないことや、日頃からの防災備蓄の重要性を呼びかけ、防災に対する意識向上を図った。

出前講座・防災備蓄倉庫の見学



兵庫県立播磨中央公園のサイクルステーションで開催し、消防団幹部、女性分団員及び防災課員により消防団展示を実施した。

子供たちへの放水体験、消防車両等の展示、消防団事業の紹介を行った。放水体験では216名の方々が体験し、普及啓発活動を行うことができた。

「放水体験にチャレンジ」の様子



加東市消防団ブース



○「安全報告書」や沿線情報誌「エスコート」にて、自然災害への備えとして想定最大規模洪水ハザードマップや「川の防災情報」「キキクル」を活用した運行規制・避難への活用をお客さまに周知します。（継続実施）

○沿線情報誌「エスコート」での情報発信



山陽電車沿線情報誌「エスコート」(月刊)

// 山陽電車の安全促進の継続に向けた取り組み //

安全 に向かって 出発進行! 「災害に備える」

vol.154

question.

大雨のときの列車運行はどうなるのですか

question.

速度を落とすことや運行休止はどのようにして決めているのですか

雨量計

防災情報システム画面

気象庁や行政機関からの気象情報、沿線に設置した専用の雨量計からのリアルタイムのデータを防災情報システムに反映し、列車が安全に運行できる状況を判断しています。河川が増水してあふれる危険のあるときは、運行休止のうえ車両を車庫から洪水のおそれのない場所に避難させます。

エスコート2024年8月号より